

大成ロテックら

丁張使わず構造物据付け

専用測量ソフトで省力化



大成ロテックと千代田測器（本社・東京都台東区、平野啓太郎代表取締役）、計測ネットサービス（同北区、佐藤哲郎代表取締役）は、丁張を

設置せずに構造物の床掘から据え付けまでの一連の作業が可能な専用測量ソフト「工事測量ガイダンスシステム 測構ナビ3D」を共同開発した。

従来、丁張を設置して複数人で行っていた高さを計測をワンマンで行うことができた。専用ソフトの導入により、作業の省力化を実現する。逆打ち放射

を開発したソフトは、5センチのタブレット端末を使い、タブレット端末での測量作業を効率化する。

既に大成ロテックの機械技

術センター（埼玉県鴻巣市）で構造物の据え付け試験を実施し、丁張を使う場合に比べて作業効率向上することを確認しており、現在は複数のモデル現場で効果を検証している。

今後は、測構ナビ3Dを使って建設現場の設計データを3D化し、一元化された3Dデータに基づく管理により、ミス・ロスの防止、測量作業の効率化による業務改善を目指す。ソフトは、千代田測器と計測ネットサービスが代理店になり、7月のリリース（価格未定）を予定している。

各種構造物の種類、構造物基礎の構造などについても設定が可能で、床掘、基礎工、構造物据え付け（専用のアプリケーション）が必要。また、道路側溝や縁石などを、連続的に配置する機能も備える。

逆打ち放射など、逆打ち放射などの基本測量機能に加え、道路工事や外構工事を行うほとんどの測量機能を備え、現場での測量作業を効率化する。

逆打ち放射など、逆打ち放射などの基本測量機能に加え、道路工事や外構工事を行うほとんどの測量機能を備え、現場での測量作業を効率化する。

既に大成ロテックの機械技